



5

マネージャ側：共有回線モードで Cisco IPMA を使用した電話機の使用方法

Cisco IP Manager Assistant (Cisco IPMA) は、電話機の機能を拡張し、マネージャとアシスタントによるコール処理をより効率的にします。システム管理者により、共有回線モードまたはプロキシ回線モードのどちらかで動作するように Cisco IPMA 設定が選択されています。共有回線モードでは、マネージャとアシスタントには同じ電話番号が割り当てられます。アシスタントは、共有番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。プロキシ回線モードでは、マネージャには電話番号が割り当てられ、アシスタントにはプロキシとして使用する代行電話番号が割り当てられます。アシスタントは、プロキシ番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。最初に、システム管理者が選択したモードを識別する必要があります。第 1 章「Cisco IPMA の概要」を参照してください。

Cisco IPMA では、共有回線モードに設定されているマネージャは、次の機能を利用できます。

- Cisco IP Phone でのコール処理の拡張機能：IP Phone の LCD スクリーンで新しいソフトキーとステータス ウィンドウを使用できる。
- インターコム機能：インターコム コールをアシスタントに発信でき、アシスタントからのインターコム コールを受信できる。
- Web ベースの機能設定：マネージャの設定画面を使用して転送先をカスタマイズできる。代わりに、アシスタントが自分に代わって Assistant Console からこの機能を設定できます。

詳細については、次のトピックを参照してください。

- マネージャの電話機で Cisco IPMA モードを識別する方法 (P. 1-18)
- コールの即時転送および転送の方法 (P. 5-69)
- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P. 5-70)
- 電話機での呼び出し音の消音方法 (P. 5-71)
- マネージャの設定画面へのアクセス方法 (マネージャ側) (P. 7-90)

Cisco CallManager エクステンション モビリティの使用方 法

Cisco CallManager エクステンション モビリティで Cisco IPMA を使用するには、次の手順を実行しま
す。

ステップ 1 Cisco CallManager エクステンション モビリティにログインします。

ステップ 2 サービス メニューから、Cisco IPMA サービスを選択します。

Cisco CallManager エクステンション モビリティの機能の詳細については、『*Cisco IP Phone 7960/7940 シ
リーズユーザガイド*』を参照してください。

関連項目

- コールの即時転送および転送の方法 (P. 5-69)
- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P. 5-70)
- 電話機での呼び出し音の消音方法 (P. 5-71)

コールの即時転送および転送の方法

マネージャ側

IP Phone の Cisco IPMA ソフトキーを使用して、アクティブ コールの即時転送、転送、および別の処理を行うことができます。

この項では、次のトピックについて説明します。

- 着信コールを別の番号へ即時転送する方法 (P. 5-69)
- ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法 (P. 5-69)

着信コールを別の番号へ即時転送する方法

マネージャ側

[即転送] ソフトキーを押すと、呼び出し中、接続済み、または保留中のコールをマネージャの電話機から、即時転送先として設定されている別の電話番号に転送できます。マネージャまたはアシスタントはマネージャの設定画面からこの転送先を変更できます。

関連項目

- Cisco CallManager エクステンション モビリティの使用方法 (P. 5-68)
- コールの即時転送および転送の方法 (P. 5-69)
- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P. 5-70)
- マネージャの転送先設定方法 (P. 7-93)

ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法

マネージャ側

[VM 転送] ソフトキーを押すと、コールをただちに電話機からボイス メッセージ サービスに送信できます。保留中のコールをボイス メッセージ サービスに転送できます。

関連項目

- Cisco CallManager エクステンション モビリティの使用方法 (P. 5-68)
- コールの即時転送および転送の方法 (P. 5-69)
- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P. 5-70)
- 電話機での呼び出し音の消音方法 (P. 5-71)

インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法

マネージャ側

オプション機能であるインターコム機能を使用すると、インターコム回線を使用してアシスタントと会話ができます。この機能は、システム管理者によって設定されます。この機能が見当たらない場合は、必要に応じて、システム管理者にお問い合わせください。

Cisco IP Phone でインターコム コールを発信するには、アシスタントに対応した**インターコム**短縮ダイヤルボタンを押します。

マネージャ側でインターコム コールを開始したときにアシスタントがほかのコールに出ていない場合は、両者のスピーカフォンが同時にオープンします。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。これは、アシスタント側でマネージャにインターコム コールを発信する場合も同じです。

マネージャ側でインターコム コールを開始したときにアシスタントがほかのコールに出ている場合には、インターコム コールがアシスタントの電話機で鳴るので手動で応答する必要があります。また、ほかのコールに出ているマネージャにアシスタントがインターコム コールを発信した場合も、手動で応答する必要があります。

インターコム コールを終了するには、電話を切ります（またはスピーカ ボタンかヘッドセット ボタンを押します）。

関連項目

- Cisco CallManager エクステンション モビリティの使用法 (P. 5-68)
- コールの即時転送および転送の方法 (P. 5-69)
- 電話機での呼び出し音の消音方法 (P. 5-71)

電話機での呼び出し音の消音方法

マネージャ側

電話機の呼び出し音を消音するには、[サイレント] ソフトキーを押して、サイレント機能のオン / オフを切り替えます。この機能がオンの場合、Cisco IP Phone の呼び出し音は使用できません。サイレント機能を使用すると、インターコム回線など、電話機のすべての回線で呼び出し音が無効になります。この機能は、Cisco IP Phone の LCD スクリーンの Cisco IPMA ステータス ウィンドウ内にベルの形のアイコンで表されます。線で消されたベルのアイコンは、機能がオンで IP Phone での呼び出し音が無効であることを示します。マネージャの IP Phone では呼び出し音が鳴りませんが、アシスタントの IP Phone では鳴ります。ベルの形のアイコンは、機能がオフで呼び出し音が有効であることを示します。初期のデフォルトではオフに設定されています。

関連項目

- Cisco CallManager エクステンション モビリティの使用方法 (P. 5-68)
- コールの即時転送および転送の方法 (P. 5-69)
- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P. 5-70)

